

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-678

(43)公開日 平成9年(1997)1月7日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 3 C 9/00
5/00

A 6 3 C 9/00
5/00

A
B

審査請求 有 請求項の数 3 FD (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平8-192755
(62)分割の表示 特願平4-298150の分割
(22)出願日 平成4年(1992)10月12日

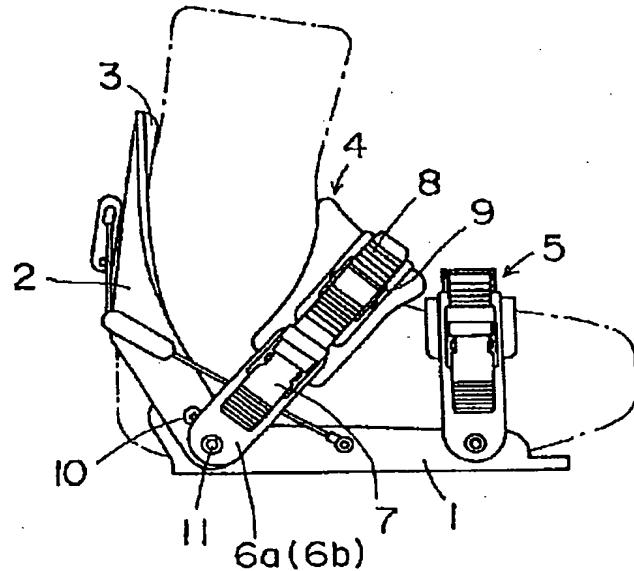
(71)出願人 391021226
株式会社カーメイト
東京都新宿区榎町72番地
(72)発明者 内藤 秀幸
東京都新宿区榎町3番地 株式会社カーメイト内
(74)代理人 弁理士 澤木 誠一 (外1名)

(54)【発明の名称】 スノーボード用ピンディング

(57)【要約】

【目的】 本発明の目的是ブーツの脱着の際、ハイバックを後方に押し倒すことによって、ストラップの締めはずしをせずにブーツをこれに挿入固定でき、毎回同じブーツの締め付け具合を期待できるスノーボード用ピンディングを得るにある。

【構成】 ベースプレートの後部にハイバックの下方部分を傾動自在に枢支し、上記ハイバックの下端部にアンクルストラップの下端を枢支して上記ハイバックを後方に傾動した際に上記アンクルストラップが上記ベースプレートに相対的に上方に移動されるようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ベースプレートと、このベースプレートの後部にその下方部分を傾動自在に枢支したハイバックと、上記ハイバックにその下端部を取り付けたアンクルストラップにより成ることを特徴とするスノーボード用ピンディング。

【請求項2】 ベースプレートと、このベースプレートの後部にその下方部分を傾動自在に枢支したハイバックと、上記ハイバックの上記枢支部より更に下方に延長した部分にその下端部を取り付けたアンクルストラップにより成ることを特徴とするスノーボード用ピンディング。

【請求項3】 上記アンクルストラップの下端部が、上記ハイバックに回動自在に枢支されている請求項1または2記載のスノーボード用ピンディング。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はスノーボード用ピンディングに関するものである。

【0002】

【従来の技術】図4は、従来のスノーボード用ピンディングの説明図であって1はスノーボード本体(図示せず)に固定されるベースプレート、2はブーツの後面に対接されるよう上記ベースプレート1の後端に固着されたハイバック、3は上記ハイバック2の内側面に取り付けられたハイバッククッション、4は上記ブーツの甲部を締め付けるため上記ベースプレート1に設けたアンクルストラップ、5はブーツのつま先を締め付けるため上記ベースプレート1に設けたトウーストラップを示す。

【0003】図5は上記アンクルストラップ4の詳細説明図であって、6aはその一端を上記ベースプレート1の一側に固定した一方のバンド、6bは上記ベースプレート1の他側にその一端を固定した他方のバンド、7は上記一方のバンドの遊端に連結したバックル、8はこのバックル7に連結したラチェットベルト、9は上記他方のバンド6bに上記ラチェットベルト8を通すために設けたラチェット爪を示す。

【0004】なお、トウーストラップ5はアンクルストラップ4と同一の構成を有する。

【0005】このような従来のスノーボード用ピンディングにおいてはベースプレート1にブーツを装着するとき、上記アンクルストラップ4及びトウーストラップ5のラチェットベルト8とラチェット爪9の係合を外し、一方及び他方のバンド6a, 6bを両手で互いに分離した後ブーツを上記ベースプレート1にその上方から乗せ、図5、図6に示すようにラチェットベルト8をラチェット爪9に挿入し、バックル7を締めてブーツの甲及びつま先をベースプレート1に固定せしめている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上記のように従来のス

ノーボード用ピンディングはブーツをベースプレート1に固定する場合、ラチェットベルト8とラチェット爪9をその都度係合し、その締め付け具合を調節し、バックル7を締め付ける必要があり、手間と時間がかかり、面倒であると同時に使用毎に一定の締め付け具合を期待できない欠点があった。

【0007】本発明は上記の欠点を除くようにしたものである。

【0008】

10 【課題を解決するための手段】本発明のスノーボード用ピンディングは、ベースプレートと、このベースプレートの後部にその下方部分を傾動自在に枢支したハイバックと、上記ハイバックにその下端部を取り付けたアンクルストラップとより成る。

【0009】また、本発明のスノーボード用ピンディングは、ベースプレートと、このベースプレートの後部にその下方部分を傾動自在に枢支したハイバックと、上記ハイバックの上記枢支部より更に下方に延長した部分にその下端部を取り付けたアンクルストラップとより成る。

20 【0010】上記アンクルストラップの下端部は、上記ハイバックに回動自在に枢支されている。

【0011】

【発明の実施の形態】以下図面によって本発明の実施例を説明する。

【0012】本発明においては図1に示すようにハイバック2の両側下方部分をベースプレート1の両側に夫々枢支ピン10を介して傾動自在に枢支し、このハイバック2の両側下部に夫々アンクルストラップ4の一方及び他方のバンド6a, 6bの下端部を取り付ける。

【0013】本発明のスノーボード用ピンディングは上記のような構成であるから、図2のようにハイバック2を後方に倒すことにより、アンクルストラップ4のラチェットベルト8とラチェット爪9の係合を外すことなしに容易にブーツをベースプレート1の上方ではなくその後方からこれに挿入することができる。

【0014】本発明の他の実施例においては、図1に示すように上記ハイバック2の上記枢支部より更に下方に延長した両側下端部に夫々枢支ピン11を介してアンクルストラップ4の一方及び他方のバンド6a, 6bの下端部を回動自在に枢支する。

【0015】この実施例においては、図2のようにハイバック2を後方に倒すと同時にアンクルストラップ4のバンド6a, 6bの下端部をベースプレート1に連結している枢支ピン11の位置がハイバック2の枢支ピン10を支点として上方に押し上がるようになる。

【0016】このようにハイバック2を後方に倒すことにより、アンクルストラップ4がベースプレート1に相対的に上方に上がるようになるからアンクルストラップ4のラチェットベルト8とラチェット爪9の係合を外す

3

ことなしに容易にブーツをベースプレート1の上方ではなくその後方からこれに挿入することができる。

【図17】また、ブーツを固定する時はハイバック2を前に倒すことによりアンクルストラップ4が下方に下がり、ブーツを締め付けるようになる。

【図18】

【発明の効果】上記のように本発明のスノーボード用ビンディングによればアンクルストラップのラチェットベルトとラチェット爪の係合を外すことなくブーツのベースプレートに対する着脱が極めて容易に達成されるとともに、ブーツの締め付け具合も毎回同じにできるという大きな利益がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】使用状態における本発明のスノーボード用ビンディングの正面図である。

【図2】ハイバックを後方に途中まで倒した状態の本発明のスノーボード用ビンディングの正面図である。

【図3】ハイバックを後方に完全に倒した状態の本発明のスノーボード用ビンディングの正面図である。

4

【図4】従来のスノーボード用ビンディングの正面図である。

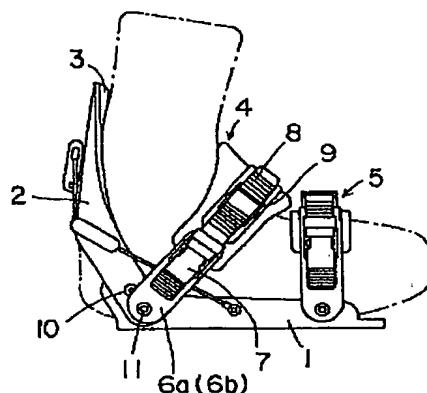
【図5】バックルを締めた状態のストラップの側面図である。

【図6】バックルを緩めた状態のストラップの側面図である。

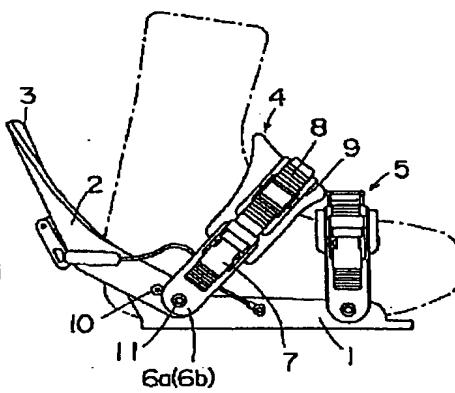
【符号の説明】

- 1 ベースプレート
- 2 ハイバック
- 3 ハイバッククッション
- 4 アンクルストラップ
- 5 トウーストラップ
- 6a バンド
- 6b バンド
- 7 バックル
- 8 ラチェットベルト
- 9 ラチェット爪
- 10 枠支ピン
- 11 枠支ピン

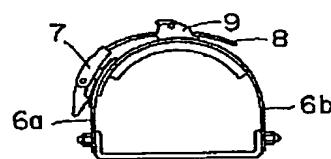
【図1】



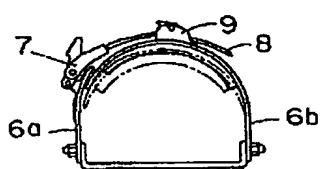
【図2】



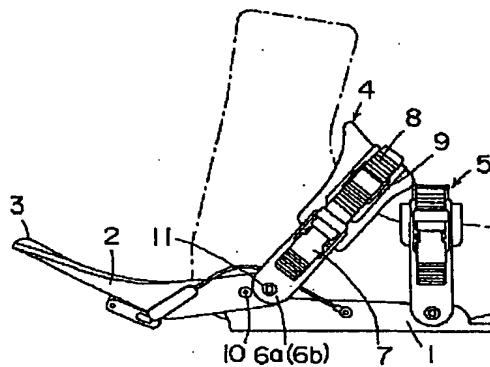
【図5】



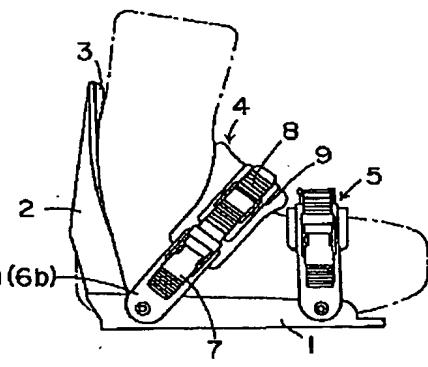
【図6】



【図3】



【図4】



POWERED BY Dialog

Binding for snow board - attaches pallet strap which is moved relatively with high backing, to part extended from pivot support part of base plate

Patent Assignee: CAR MATE MFG CO

Patent Family

Patent Number	Kind	Date	Application Number	Kind	Date	Week	Type
JP 9000678	A	19970107	JP 92298150	A	19921012	199711	B
			JP 96192755	A	19921012		

Priority Applications (Number Kind Date): JP 92298150 A (19921012); JP 96192755 A (19921012)

Patent Details

Patent	Kind	Language	Page	Main IPC	Filing Notes
JP 9000678	A		3	A63C-009/00	Div ex application JP 92298150

Abstract:

JP 9000678 A

The binding supports the lower side part of a high backing (2), by a pivot support pin (10) towards the back side of a base plate (1).

A pallet strap (4) attaches the part extended from the pivot support part, to the lower side. The pallet strap is moved relatively with the high backing.

ADVANTAGE - Detaches boots simply by throwing down high backing. Facilitates easy fastening and removing. Maintains reliable tightening condition.

Dwg.1/6

Derwent World Patents Index

© 2004 Derwent Information Ltd. All rights reserved.

Dialog® File Number 351 Accession Number 11135275